

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 関東電化工業株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 100-0005 東京都千代田区丸の内二丁目 3 番 2 号	
本票作成	部署名： 関東電化工業株式会社 水島工場 安全環境保安部				
主たる業種	分類コード	16	業種名： 化学工業		
事業の概要	電池材料やエッチングガス等のフッ素事業と苛性ソーダや有機溶剤等の塩水電解事業				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	水島工場		倉敷市松江四丁目 4 番 8 号	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	令和 7 年度 ～ 令和 7 年度 (1 箇年度)									
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 2.0 %	目標区分	20%以上	20～15%	15～10%	10～5%	5%未満	
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準							○	
温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 6 年度)			目標年度 (令和 7 年度)						
	99,220 t CO ₂			103,705 t CO ₂						
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (令和 6 年度) の排出量						
	①	水島工場		99,220 t CO ₂						
				t CO ₂						
				t CO ₂						
				t CO ₂						
				t CO ₂						

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産数量	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		1.391 t CO ₂ / (t)	1.363 t CO ₂ / (t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和 6 年度)	達成率 (%)
指標の状況	ソーダ工業	3.000 GJ/t 以下	3.254 GJ/t	92.2%

【目標削減率設定の基本的な考え方】

・継続して生産設備の運用見直し、機器更新、生産性の効率化等の実施により、会社のRC推進目標である年2%以上のエネルギー原単位（原油換算）基準の削減に取り組み、温室効果ガス排出原単位を削減する。

【目標削減率達成のための推進体制】

・サステナビリティ推進委員会の下部組織である地球環境対策部会で温室効果ガス排出量削減の目標を定め、RC推進会議の下部組織である安全環境保安委員会で省エネルギーの目標を定めている。これらの目標を水島工場では、環境保安委員会の下部組織である省エネ推進委員会で省エネ活動の推進を図る。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
水島工場	<ul style="list-style-type: none"> ・高効率電解槽（ゼロギャップ）導入による電力量削減 ・電解濃縮工程の水素ボイラー設置による蒸気購入量削減 ・電解槽温水加熱による電力量削減 ・蒸気トラップの点検・修理による蒸気ロス削減 ・蒸気及び冷媒配管放熱ロス箇所の保温補修による蒸気ロス削減 ・電気自動車及び電気バイクの購入 ・太陽光発電設備の設置

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
水島工場	<ul style="list-style-type: none"> ・液化塩素製造設備の気化器の蒸気使用量削減 (CO2排出量削減量≒80 t-CO2/y) ・蒸気及び冷媒配管放熱ロス箇所の保温補修による蒸気ロス削減（継続） ・滴状凝縮技術による熱交換器の伝導率向上による蒸気使用量削減 (CO2削減量：約15.6t-CO2/m) ・廃液処理工程の見直しによる蒸気使用量削減 (CO2削減量：約365t-CO2/y)

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--